



交流拠点都市  
美祢市  
MINE CITY

# みね 議会だより

第19号 平成28年(2016年)3月1日発行



節分行事(伊佐保育園)

## 主な内容

- 審議された議案等 ..... 2～4
- 一般質問 ..... 5～12
- 委員会報告 ..... 13～14
- 平成27年度第2回議会報告会を開催しました ..... 15
- 3月定例会の日程・編集後記 ..... 16

## 平成27年第4回(12月)定例会

第4回定例会は、12月1日(火)～12月18日(金)の18日間で行われ、平成27年度一般会計、特別会計、企業会計の各会計補正予算について11件、条例の制定及び一部改正など7件、市施設の指定管理者の指定について7件、その他美祢市萩市競艇組合の解散や財産の無償譲渡など4件の計29議案が上程されました。

このうち、所管の予算委員会に付託された平成27年度一般会計補正予算(第5号)は、初日

に同委員会を開催し審査を行い、同日の本会議において全会一致で原案のとおり可決しました。

その他の議案28件は、教育経済委員会(12月7日)総務民生委員会(12月8日)予算委員会(12月9日)にそれぞれ付託、審査が行われ、本会議最終日に全ての議案について原案のとおり可決し、定例会を閉会しました。

### 審議された議案等

#### 補正予算について

○議案第88号 平成27年度美祢市一般会計補正予算(第5号) **原案可決**

「美祢市生涯活躍のまち構想」の基本計画策定に係る経費として、587万円を追加補正するものです。

○議案第89号 平成27年度美祢市一般会計補正予算(第6号) **原案可決**

人件費、当面必要な経費並びに事業実施に伴う精算等により、1億4,261万1,000円を追加補正するものです。

○議案第90号 平成27年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) **原案可決**

人事異動等に伴う人件費の調整や後期高齢者支援金、前期高齢者納付金等について、支払基金に納付する納付金及び事務費の算定係数が変更されたことによる財源調整等により、2億5,718万1,000円追加補正するものです。

○議案第91号 平成27年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第2号) **原案可決**

人事異動等に伴う人件費の調整、および秋芳洞入口と秋吉台周辺におけるWi-Fiエリア拡張のための機器整備に要する経費を追加補正するものです。

○議案第92号 平成27年度美祢市環境衛生事業特別会計補正予算(第1号) **原案可決**

○議案第93号 平成27年度美祢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) **原案可決**

○議案第97号 平成27年度美祢市公共下水道事業会計補正予算(第1号) **原案可決**

○議案第98号 平成27年度美祢市病院等事業会計補正予算(第1号) **原案可決**

上記2議案は、人事異動等に伴い人件費の調整を行うものです。

○議案第94号 平成27年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) **原案可決**

人事異動等に伴う人件費の調整、および配食サービス事業に係る委託料等について、追加補正するものです。

○議案第95号 平成27年度美祢市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) **原案可決**

過年度未済還付金として追加補正するものです。

○議案第96号 平成27年度美祢市水道事業会計補正予算(第1号) **原案可決**

人事異動等に伴う人件費の調整、および事業量の減少による消費税還付金の減額が主なもので、平成27年度純利益は、5,332万2,000円となる見込みです。

## 条例の制定及び一部改正について

- 議案第99号 美祢市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について  
原案可決(賛成16:反対1)

- 議案第100号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について  
原案可決(賛成16:反対1)

- 議案第101号 美祢市介護保険条例及び美祢市特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正について  
原案可決(賛成16:反対1)  
上記3議案は、マイナンバー制度の開始に伴い、特定個人情報の取り扱い等について、条例の整備を行うものです。

- 議案第102号 美祢市税条例等の一部改正について  
原案可決

- 議案第103号 美祢市立中学校設置条例及び美祢市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
原案可決

秋芳南中学校と秋芳北中学校を統合し、平成28年4月1日から秋芳中学校を設置すること。

また、平成30年4月1日から嘉万小学校と別府小学校の統合校が利用する体育館として予定されている秋芳北中学校の体育館を平成28年4月1日～平成30年3月31日までの2年間、本市体育施設として活用するため、条例の一部を改正するものです。



秋芳北中学校体育館

- 議案第104号 美祢市学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
原案可決(賛成16:反対1)

豊田前学校給食共同調理場を廃止し、厚保学校給食共同調理場に統合するため、条例の一部を改正するものです。

- 議案第105号 美祢市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正について  
原案可決

## その他の議案について

- 議案第106号 美祢市萩市競艇組合規約の変更について  
原案可決

- 議案第107号 美祢市萩市競艇組合の解散について  
原案可決

- 議案第108号・109号 美祢市地域交流ステーションの指定管理者の指定について  
原案可決

於福地域交流ステーションの指定管理者を「於福地域交流ステーション推進協議会」に、厚保地域交流ステーションの指定管理者を「厚保地域交流ステーション振興協議会」に指定するものです。



於福地域交流ステーション

- 議案第110号 美祢市農林資源活用施設の指定管理者の指定について  
原案可決

同施設の指定管理者に「美祢農林開発株式会社」を指定するものです。

- 議案第111号 美祢市道の駅おふくの指定管理者の指定について  
原案可決

同施設の指定管理者に「美祢観光開発株式会社」を指定するものです。

- 議案第112号 美祢市道の駅みとう及び美祢市美東都市と農村交流の館の指定管理者の指定について  
原案可決

同施設の指定管理者に「株式会社みとう駅」を指定するものです。

○議案第113号 美祢市秋吉台リフレッシュパーク及び美祢市秋吉台家族旅行村の指定管理者の指定について **原案可決**

両施設を一括で管理する指定管理者を「特定非営利活動法人やまぐち里山ネットワーク」に指定するものです。

○議案第114号 美祢市都市公園の指定管理者の指定について **原案可決**

秋吉台国際芸術村の指定管理者に「公益財団法人山口きらめき財団」を指定するものです。

○議案第115号 財産の無償譲渡について **原案可決**

○議案第116号 土地改良事業の施行について **原案可決**

## 平成28年第1回(1月)臨時会

第1回臨時会は、1月14日(木)の1日間で開催され、専決処分の承認、平成27年度一般会計補正予算及び議員提出決議案の合わせて3件が上程されました。

このうち、専決処分の議案及び議員提出決議

案は即決議案として委員会付託を省略し、全会一致にてそれぞれ承認、可決しました。

また補正予算については所管の委員会を開催のうえ審査を行い、本会議にて原案のとおり可決し、臨時会を閉会しました。

### 専決処分について

○議案第1号 専決処分の承認について(美祢市税条例の一部を改正する条例の一部改正について) **原案承認**

### 補正予算について

○議案第2号 平成27年度美祢市一般会計補正予算(第7号) **原案可決**

ふるさと美祢応援寄附金事業の実績見込みから、基金積立金の増額と事業経費の追加、また、市道麦川桃ノ木線の法面整備工事に要する経費などについて、追加補正するものです。

### 決議について

○議員提出決議案第1号 世界ジオパーク認定に向けた拠点施設の整備に関する要望決議について **原案可決**

本市のジオパーク活動がJGN(日本ジオパークネットワーク)に認められ、昨年9月4日、美祢市全域をエリアとする「Mine秋吉台ジオパーク」が県内初の日本ジオパークに認定され

ました。

しかしながら、本市が目指す「世界ジオパーク」の認定を得るためには、ジオパーク拠点施設として、国際的に通用する、また活動の核となる施設を整備することが必要です。

したがって、拠点施設の早期整備に向けて、市が強力に取り組むことを要望し、議会もそれに協力していくことの意味を示したものです。



ジオパーク拠点施設(秋吉台科学博物館)



(新政会)

あらやま みつひろ  
荒山 光広 議員

## 1 地域間競争で生き残るための方策について

**問** 今後人口が減少傾向にある我が国では、少子高齢化が益々進むことで、そこに暮らす人々がいかに快適にいか豊かに暮らせる環境をつくれるか、また観光を含めた交流人口をいかに増やせるかという地域間競争が激しさを増してまいります。

本市が生き残るための地域資源や人材の活用について、お考えをお聞かせください。

**答** 美祢市には秋吉台、長登銅山や大嶺炭田等、多くの地質遺産や他市にはない全国初のPFI方式(官設民営型)で運営される美祢社会復帰促進センター等の地域資源があります。

さきに策定した「美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「Mine秋吉台ジオパークを活用した取り組み」と「美祢社会復帰促進センターとの協働」を重要戦略に掲げ、これらの地域資源を活用し、関係する施策を実施することで積極的に取り組むこととしています。

また、市内には経験豊富な高齢者をはじめ、地域のために活躍・活動される方やグループなどがあります。現在美祢市ふるさと交流大使を歌手の<sup>いりやま</sup>入山アキ子さん、切り絵画家の<sup>くぼしゅう</sup>久保修さん、漫画家の<sup>そのぼりょう</sup>苑場凌さんの3名に委嘱していますが、その他にも関東や関西などで活躍されている方々がいらっしゃいます。これにより、市内外の「人財」を活かした人的ネットワークを形成し、美祢市の情報発信に努めてまいりたいと思います。

**問** 「人財」を活用するための予算措置と組織上の位置づけについてお伺いします。

**答** ふるさと交流大使に係る経費については、当初予算策定時に見込める額のみ計上していることから、年度途中の新たな事業に対応しづらい部分もあります。本市にとって有意義な活動に対しては、追加の予算措置も検討したいと思います。

また、現在この事業は市企画政策課を中心に行っていますが、交流大使との協働に関して、他の部署との連携を強化したいと考えています。

**問** 昨年度、後期基本計画を策定され、本年度からこの基本計画に沿った様々な事業を展開されていますが、とかくトリプルエンジンとされる「国際交流の推進」、「六次産業の創出」、「ジオパーク活動の推進」に関する事業が目立つようです。

地域間競争で生き抜くため、本年度実施された事業の成果と今後の生活環境等の整備について、お伺いします。

**答** 後期基本計画では、本市を牽引する事業としてトリプルエンジンを掲げ、定住促進に結びつけることとしています。

一方、市民の皆様が安全・安心に暮らしていただけるよう、子育て支援策として18歳以下のお子様2人以上おられるご家庭において、所得制限を設けることなく第2子を一律半額、第3子を無料とする保育料の軽減措置や、さくら公園に大型遊具の設置、またミニバスの路線拡大、さらに美東、秋芳の水道水の軟水化にも道筋をつけたところです。

来年度はこれらの施策を継続するとともに、国の生涯活躍のまちづくり構想に基づいた「CCRC(注1)」にも着手いたします。

地方交付税が減額される厳しい財政状況ではありますが、市民生活を守り未来に希望の持てる予算編成に努めたいと考えています。

(注1) Continuing Care Retirement Community (継続介護付きリタイアメント・コミュニティ)の略

高齢者が自立して生活できるうちに入居して社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける米国発祥の仕組み。



(純政会)  
いわもと あき なか  
岩本 明央 議員

## 1 美祢市の今後の農業振興について

**問** 農業法人に対して、ハード面で高額農業機械の購入を支援することは最も大切な事業であり、今後も事業継続の必要性を感じています。

しかし、最近ソフト面における指導不足が目立ち、水稲、麦、大豆等の収穫量が低下しています。

今後、農業法人への指導はどのようにされるのか、お尋ねします。

**答** 美祢農林事務所、山口美祢農業協同組合及び美祢市で組織する美祢地域農業改良普及協議会を中心に集落や農業法人に出向き、栽培技術・管理等の指導を進めてまいりたいと考えています。

**問** 先進地の農業法人の一部では、経営面、財政面で苦境に立っているところがあります。反面、九州では、農業法人が合併し、耕作面積が800haの大規模法人ができたと報道されています。

市内農業法人には、今後どのような指導をされるかお伺いします。

**答** 平成32年に、県下全ての農協が統合される方向で動いています。1市町、1農協の体制では、対応できない状況になりつつあるため、全体の動きを見ながら、対応を考えています。

**問** 平成25年度まで、国の水稲個別補償制度により、1反当たり1万5,000円の補助金がありました。平成26年度以降は半額の7,500円になり、米作り農家は採算割れで大変苦しんでいます。

そこで、美祢市独自の補償制度を創設されてはいかがでしょうか。

提言として、農協が販売した米の3年間の平均数量は9万俵ですが、米1俵に対して1,000円の補助金を出せば、1反当たりの生産量を7.5俵として、7,500円の補助額になり、減額分を補填できますが、お考えをお聞かせください。

**答** 米1俵当たり1,000円の補助金をお出しした場合、9,000万円の財源が必要であり、本市の財政状況や他産業との均衡などを総合的に考えると大変困難な状況です。国のTPP対策等も見つめながら、今後検討したいと思います。

**問** 全国的に「ふるさと納税」が盛んになっていますが、納税者(寄附者)は、返礼品の良し悪しで寄附先の自治体を選んでおり、また寄附金額の多い自治体は共通して返礼品のPRに力を入れているようです。

返礼品の全国人気ベスト3を見ますと、1位肉類、2位魚介類、3位お米と言われています。

本市も市内産の牛肉や米などの農産物を取り扱っており、それをさらにPRして農業振興につなげていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

**答** 本市では、ふるさと納税返礼品のPRを日本最大手の旅行会社とタイアップして行っており、現状として全国の方々から多くの寄附金を頂戴しています。

また、市内産の農産物についても、ミネコレクション認定商品を含め、すでに主立ったものを返礼品としてお送りしています。



大豆を収穫する農業法人(美東地域)



(政和会)  
徳並 五郎 議員

## 1 ジオパーク認定後の取り組みについて

**問** 日本ジオパークの認定を本市の教育・観光・産業等の振興に繋げていくことが大切ですが、何より重要なのは市民が「美祢市」に誇りを持ち、物心豊かに暮らせることです。

市長は、この度の日本ジオパーク認定について「美祢市の新たな扉が開き、スタート地点に立った」とコメントされ、今後もジオ資源を保全しながら、観光振興をはじめ農産物等のブランド化による六次産業の創出、教育活動を通じた郷土愛を育む取り組みを進められるご方針であると認識しています。

その中で、市民の所得向上に直接つながる六次産業の振興策について、どのように展開されるお考えか、お尋ねします。

**答** 本市の六次産業化については、美祢市六次産業化基本計画の方針に基づき実施することとしています。

同計画は、農林業者等をはじめとする関連産業の六次産業化に向けた取り組みの推進、新たな市場や付加価値の創出、雇用の確保と所得の向上を図ることを基本理念としており、この達成に向け、市内産業の人材・組織を育成するための事業や、商品開発に対する補助金制度を創設するなど、諸施策を展開しているところです。

現在、ジオパークたる本市で生まれた地域ブランド「ミネコレクション」の出口対策（販路の整備）が課題であることから、本市が交流を進める台湾や諸外国も視野に入れ、情報発信や販売促進に関する事業を今後実施したいと考えています。

**問** 世界ジオパークを目指すにあたり、認定に向けたプロセスはどのようにお考えでしょうか。

**答** 世界ジオパークは、平成27年11月にユネスコの正式事業に格上げされました。今後、文部科学省を中心に政府の支援等も拡充されることを踏まえ、また山口県とも協調し、拠点施設の整備等について検討する必要があります。しかし、世界ジオパークの認定を得るためには、まずは多くの市民が地域に誇りを持ち、ジオ活動に取り組みれることが大切です。また、それは地域経済の発展や雇用体制の充実、さらに将来的には地域定住に結びつくものだと思います。したがって、行政主導のスタンスではなく、市民の方々が行うジオ活動に対し、行政がいかにバックアップするかということも重要と考えています。

## 2 子ども議会の開催について

**問** 本市の魅力あるまちづくりについて、子どもの視点からの意見を聞き、また子どもたちの市政に対する意識醸成を図るため、市内中学生を対象とする「子ども議会」を開催してはいかがでしょうかでしょうか。

**答** 子どもたちが学習や体験から得た成果を踏まえ、広い視野で本市の未来について建設的な議論を展開することで、社会に対して自覚と責任のある将来の主権者の育成につながると考えています。

また、子ども議会を行うことは、美祢市民としての一体感醸成に寄与する契機になることから、今後適切な時期に開催することを検討したいと思います。



ミネコレクション認定商品（道の駅みとう）



(政和会)  
な の とも かず  
**猶野 智和** 議員

## 1 フィルムコミッション事業の推進について

**問** フィルムコミッションとは、「映画、TVドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関」です。

私は、平成25年6月議会の一般質問において、美祢市でもこの事業を行う組織の整備が急務であるという内容の質問をしました。お陰様で平成26年12月に美祢市フィルムコミッションが正式に設立され、すでに大手メーカーのCMや大作映画のロケーションに対する協力活動の実績を上げています。

しかし、より積極的な誘致活動を行うためには、さらなる組織体制の強化が必要だと考えており、その肝となるのが職員の専任化だと思いますが、お考えをお尋ねします。

**答** ジオパークに認定された本市の様々なロケーションに撮影等を誘致することは、将来の世界ジオパーク認定につながる大きな力になるものと考えています。

したがって、組織体制の強化を図るため、専任職員を充てることについて、本格的に検討します。

## 1 美祢市内のケーブルテレビの加入支援について

**問** 美祢・美東地域におけるケーブルテレビの加入率は、いずれも約90%と高いようですが、秋芳地域は約75%程度にとどまっています。

新規加入を妨げている原因の一つとして高額な加入料があると思われませんが、秋芳地域において加入促進の割引キャンペーンを実施することは

できないかお尋ねします。

**答** 市から放送事業者の山口ケーブルビジョン(株)に対し、加入金等の割引に関する新たな取り組みを要請するとともに、現在未加入の世帯にキャンペーンの周知を徹底していきたいと考えています。

## 3 買物難民の解消について

**問** 最近、「買物難民」や「買物弱者」という言葉をよく耳にします。この言葉は経済産業省の買物弱者応援マニュアルによると、「流通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている人々」を指し、現在日本全国に約700万人いると推計され、さらに増加傾向にあるようです。

このように、介護などの福祉サービスに頼るまでもない健康な住民でありながら、「買物難民」とされる方々に対する、買物支援を行うことが求められています。

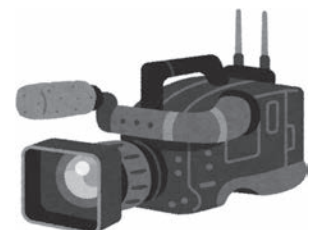
そこで、買物支援サービス業者の本市への参入を促すための施策検討についてお尋ねします。

**答** 公共交通機関の運行状況や福祉サービスの実施状況等を勘案しながら、民間事業者に対する支援の是非、また効果的に実施するためのニーズの調査も含めて判断したいと考えています。

## 4 秋吉台周辺地域的美観維持について

**問** 観光事業特別会計の赤字解消の目途がたった今、以前のように施設管理専任職員を内部に抱え、草刈り等の美観維持業務の充実を図るべきと考えますが、いかがでしょうか。

**答** 美観維持を行う業者に発注する際の仕様書を充実させ、また業務の繁閑対策として職員自ら環境美化活動を行うことを検討しています。







(日本共産党)  
みよし むつこ 議員  
**三好 睦子**

## 1 介護保険制度について

**問** 施設入所に係る経費の軽減策をお尋ねします。

**答** 介護サービス費については、すべてのサービス利用者に対し、所得区分に応じた負担限度(1割または2割負担)を超えた場合、超えた部分が払い戻される高額介護サービス費支給制度があります。

また、低所得者については、介護保険負担限度額認定証を受けている人を対象に食費や居住費を軽減する制度や社会福祉法人等による負担軽減制度もあります。

## 2 兼業農家の支援と農業所得の向上について

**問** 耕作放棄地の解消が課題です。「半農半X」事業、つまり半分農業しながら、残りの時間は自分のやりたいことをするという、兼業就農事業を取り入れれば、Uターンを促し耕作放棄地の解消にもつながると考えています。

このような事業を検討することについて、お考えをお聞かせください。

**答** 今年度創設した「はじめてみ～ね応援事業」は、専業の新規就農だけでなく、兼業の就農も対象にしており、その他にも兼業就農を対象にした事業があります。

今後も、就農者の多種多様なニーズに応えるため、これらの事業を積極的にPRし、兼業就農を含めた地域農業の新たな担い手の確保に努めてまいりたいと考えています。

**問** 市内農業者の所得向上を担うはずの美祢農林開発株式会社は、農産物を主に市外から納入しています。

地元農産物を多く仕入れることについて検討いただけないか、お伺いします。

**答** 美祢農林開発株式会社では、新社長の指示のもと、統括責任者をリーダーとして地元野菜などを活用するための事業について準備しています。

現在、一部の品目については農協との連携で安定供給の体制も進みつつありますが、さらに関係機関と協議し、効果的な活用に向けて努力してまいります。

**問** 農産物を納入しても採算割れするようでは、農家が再生産することはできません。農家にとって、採算がとれない納入価格であった場合、その金額を補てんすべきと考えますが、いかがでしょうか。

**答** 納入価格については、再生産できる価格かどうかしっかり調査する必要があります。これが、再生産できない価格であれば、農業振興の観点から、現在実施している様々な単独事業、また必要があれば、新たに何らかの事業を創設することについて検討したいと思っています。

## 3 高校通学のアンモナイト号の増便について

**問** 来年度から高校の通学区域が県内全域になり、進学する際の選択肢が広がります。

美祢青嶺高校の存続のため、通学に利用しやすいアンモナイト号の運行が必要だと思えます。

そこで、美東の赤郷と真長田から美祢方面に往復する運行コースの増便はできないでしょうか。

**答** 地域公共交通に関するこれまでの問題点の整理や市民のニーズを把握し、平成28年度中に地域公共交通網形成計画を策定し、高校生の通学手段、通学ルートについても検討したいと考えています。



(公明党)

 おかやま  
 岡山 たかし  
 隆 議員

## 1 豪雨による被災が慢性化している地域への対策に関して

**問** 2015年、大型台風15号が山口県に接近し、市内全域に大雨警戒警報が発令されました。

被災状況は、於福町西寺で厚狭川河川敷氾濫による床上浸水1世帯、大嶺町で7世帯の床下浸水、また伊佐川の氾濫による床下浸水10世帯の被害が発生しました。

短い周期で多発する豪雨による被災地域の現状分析と対策について、お尋ねします。

**答** この台風15号は、強風に加え、於福町の神田観測所でおよそ100ミリの時間雨量を観測した記録的な集中豪雨を伴いました。

これは、地球温暖化による異常気象によるものですが、浸水被害の原因は山や水田の湛水力の低下や河川の土砂堆積等による断面不足も影響しています。

したがって、浸水被害地域への対応策として、河川の泥を取り除く工事(2級河川は県に要望、普通河川は市が優先順位で工事を実施)や排水路・側溝の清掃を実施するとともに、ソフト面では洪水ハザードマップの作成、また美祢市安全安心メールにより気象・避難・消防情報等の発信を行っています。

**問** 大嶺町東分、伊佐町伊佐地域等において、慢性的に床下浸水等の被害が発生しています。今後、100ミリ程度の豪雨が見込まれる状況下において、消防ポンプ車を配備し、排水活動を行うなど、措置を講じることも重要だと思いますが、お考えをお聞かせください。

**答** 豪雨等における水災害防止対策は、初動として消防本部、消防団で対応しています。消防では、計画的に水防訓練を実施し、消

防ポンプによる排水活動、土のう積み水防工法も対応可能な状況であることから、各種災害に対して空振りを恐れず、迅速に対応することとしています。

## 2 独居高齢者や認知症高齢者に対する見守りサポート体制に関して

**問** 急速な高齢化の進展に伴い、認知症や独居高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりが急がれています。

認知症高齢者に対して見守りシール(黄色のシール)を配布し、該当者のくつや衣服に貼りつけることで地域全体での見守りにつながると思います。

また、郵便局との見守り協定以外に宅配・配食・新聞業者等、市民と関わりの深い事業者との見守り協定を推進していくことも重要です。この見守りサポート体制について、お考えをお尋ねします。

**答** 徘徊の恐れのある認知症高齢者が行方不明になった場合、早期発見ができるよう関係機関の支援体制を構築し、生命や身体の安全を図ることを目的に該当者の事前登録と関係機関による緊急体制等、ネットワークの構築に向けた支援体制整備を行っています。

さらに、認知症については地域での交流等も必要であることから、いわゆる認知症カフェの開始に向けた調整を図り、可能であれば来年度からそれを実施する予定にしています。

提案いただいた見守りシールについても関係機関と協議し、導入に向けた検討をしております。

また、宅配・新聞配達業者等、市民との関わりの深い事業者との見守り協定につきましては、早急に検討させていただきます。





(友善会)

坪井 康男 議員

## 1 二つの第三セクターの平成27年度上期収支状況について

**問** 美祢農林開発(株)と美祢観光開発(株)の平成27年度上期の収支は、どのような状況ですか。

**答** 美祢農林開発(株)については、竹箬部門、農産物加工部門、野菜活用部門ともに、大幅に売り上げが増加し、指定管理料1,500万円を加えて、総収入額は前年比3,000万円の増となりましたが、製造原価並びに販売費及び一般管理費も増加したため、経常収支は390万円の増加にとどまりました。

また、美祢観光開発(株)においては、道の駅おふくのシャーベットの、特産品、レストラン部門の売り上げは増加していますが、温泉、野菜市場、及び市民館食堂の各部門の売り上げは減少し、全体の売上高は、前年同期比550万の増加でした。

売上原価、販売費及び一般管理費は、ほぼ前年並みに抑えることができましたので、前年同期の純損失額428万円が今期は69万円の純損失にとどまり、収支は改善されています。

## 2 美祢農林開発(株)における事務処理について

**問** 指定管理業務と竹箬事業は、分離された経理が実施されていますか。

**答** 毎年6月の定例市議会における事業報告書及び事業計画書に加え、現在は「部門別総括表」を提出し、部門別の収支実績をお示ししています。

実際に会社のほうで部門別に分離された経理が行われているかどうかについては、お答えする必要がありません。

なぜならば、議会運営辞典によると第三セクター等の会社自体の内容に関することは、一般質問のテーマではないとされておりますので、ご理解ください。

**問** 美祢農林開発(株)の業務に係わる帳簿、預金通帳及び財務関係書類等が、登記上の本店所在地の事務所に過去5年間分保存されていますか。

**答** 美祢農林の活動の拠点は「美祢市農林資源活用施設」内の事務所にあり、この事務所に会社の帳簿類が保管されていると認識しています。

## 2 「美祢市第三セクター改革推進委員会」について

**問** 委員会開催の今後のスケジュールと審議されるテーマについてお伺いします。

**答** 平成27年度の委員会開催については、平成27年8月4日に第1回、11月24日に第2回目を開催しました。第3回目の開催は平成28年2月か3月になる予定です。

現在、委員会においては、国の指針に規定されている公的支援の在り方等についてご意見を賜る中で、存続、事業継続の前提となる条件、いわゆるゴーイング・コンサーンについても取り組んでいるところです。





(友善会)  
かわもと よしひさ  
河本 芳久 議員

## 1 農業振興と補助金の有効活用について

**問** 農業振興と新年度予算について、市長の考えをお尋ねします。

**答** 農業は本市の基幹産業です。農業振興は極めて大切なことを念頭に置き、国や県の施策との連携、また、ジオパークとも関連する六次産業の振興にも配慮した予算編成を考えたいと思います。

また、農業後継者の育成や生産基盤の強化にも鋭意取り組んでいきたいと考えています。

**問** 農用地や農道・水路・ため池などの農業基盤の維持管理に対する補助金事業「多面的機能支払事業」の取り組み状況についてお尋ねします。

**答** 現在、本市の対象農地38パーセント、すなわち1,588haが、27組織で実施され、事業費は1億970万円、自己負担なしで農村環境の維持が図られています。

**問** 事業実施に当たって、地域で世話をする人が少ないことや事務処理等が面倒との理由で取り組みが低調です。取組面積を拡大するために、活動組織の広域化、行政の積極的な支援はできないかお尋ねします。

**答** 地域のリーダー不足や事務処理の負担については承っており、事務負担の軽減化改善策については国や県に要望しています。

今後も地域の要望に沿えるよう、取り組みに係る行政支援に努めたいと思います。

## 2 文化財の保護について

**問** 岩永本郷地区の農業整備事業に係る文化財調査についてお尋ねします。

**答** 岩永本郷地区には、岡部氏の居城跡など貴重な文化財が分布していることは十分承知しています。本地区は、平成29年度以降、農地整備事業が行われる予定で、県が埋蔵文化財の事前調査を実施することになっています。

極めて大切な遺跡であることから、県と連携して保護活用に努めたいと考えています。

**問** 岩永旦箱式石棺群は貴重な弥生時代の遺跡です。この遺跡を保存し、活用するため、土地買い上げも行われ、公園計画もありましたが、今は放置されたままになっています。

また、秋芳洞に次ぐ巨大洞窟で学術的価値の高い西秋吉台鷹ヶ穴石灰洞や彦山、横道の古墳群等もありますが、これらの保護、有効活用についてお尋ねします。

**答** 遺跡の多くが民有地にあるため、当面は現状のまま保護・保存し、岩永旦箱式石棺群については、文化財保護審査会の意見を聞きながら今後整備について検討したいと思います。

## 3 統廃合された校舎及び跡地の活用について

**問** 秋芳岩永地区の本郷・下郷小学校は、すでに秋吉小学校に統合され、これから嘉万・別府小学校、さらに秋芳北・秋芳南中学校の統合が予定されています。

統合後の旧校舎・跡地利用の計画についてお尋ねします。

**答** 秋芳北中学校の跡地については、嘉万・別府小学校の統合学校として活用する計画です。

小学校4校の跡地については、住民の要望等を踏まえ、地域の意向に十分配慮し、有効活用について検討したいと考えています。

# 委員会報告

## 教育経済委員会報告

(平成27年12月7日)

**問** 閉校する秋芳北中学校の体育館を来年度から美祢市秋芳北体育館として利用することについて、地域住民への周知はどのように図られますか。

**答** 体育館については、主に関係する嘉万、別府地域のそれぞれで、施設利用の説明会を開催することとしています。

**問** 美祢市勤労青少年ホームに関する条例が改正されますが、現在、開催されている講座や教室はどうなるのでしょうか。



**答** 当施設では、英会話・中国語等の教室やサークル活動などを行っていますが、これらの活動については次年度以降も継続する予定です。

**問** 秋芳洞周辺のWi-Fiエリアを拡張するための予算が計上されていますが、これは秋芳洞商店街の全体をカバーするのでしょうか。

**答** 秋吉台観光交流センターから秋芳洞案内所までの一帯をWi-Fiエリアとするため、整備を行います。

**問** 美祢農林資源活用施設の指定管理料の積算根拠についてお伺いします。

**答** 売上高等については、平成26年度の実績値と経営改善計画の中で示された平成28年度の計画値を比較のうえ算出し、事務費等の固定費については過去の平均値を採用して算出しています。

**問** 危険ため池改修の申請手続きの方法について、お尋ねします。

**答** 改修するには、危険ため池に指定されることが条件です。まず、市に相談いただき、状況確認のうえ、危険ため池に指定されれば、様々な事業を活用して改修を行うこととなります。

**問** 美祢市秋吉台リフレッシュパークと美祢市秋吉台家族旅行村については、二つの施設を併せて指定管理されますが、個別の積算額についてお伺いします。

**答** 平成28年から30年の各年度において、リフレッシュパークは約4,000万円、家族旅行村は約3,700万円です。



リフレッシュパークオートキャンプ場

## 総務民生委員会報告

(平成27年12月8日)

**問** マイナンバー制度を利用し、地域の特性に応じた施策を実施できるようになっていますが、本市ではどのように考えていますか。

**答** マイナンバー（個人番号）の取り扱いは、法律で厳しく限定されています。したがって、現段階では本市独自による特定

個人情報の利用は考えていませんが、今後、利用範囲が拡大された場合は、本市の施策に活用できるよう条例を整備することも考えられます。

**問** マイナンバー制度に係る市職員の研修はどのように進めているのでしょうか。

**答** 本制度の基礎知識を理解するため、全職員を対象とした研修を2回行っています。

**問** 美祢市萩市競艇組合の解散に向けた整理事務を本市が行うこととなりますが、金銭的な負担は生じるのでしょうか。

**答** 解散手続きに、多少の事務を伴いますが、経費の負担はないものと考えています。

## 予算委員会報告 (平成27年12月1日、9日)

**問** ハッピーシニアタウン事業として委託料が計上されていますが、この委託内容と委託先について、お尋ねします。

**答** この委託料は、本市が目指す「生涯活躍のまち構想」を策定するため計上したものです。

今後、先進地視察や有識者会議などを経て、委託先のコンサルタント業者に支援をお願いしながら、構想を策定する予定です。

**問** 農業法人経営者の一番の悩みは、いかに若い就農者を確保するかということですが、それに対する今後の市の対応と取り組みについてお伺いします。

**答** 本市では新規就農者確保のため、就農後の家賃及び農機具の購入等にかかる補助、さらに、農業大学生の学費等に対する支援などを行っています。

また、農業法人等に就職のうえ、就農される方には、国や県の補助事業を活用した新規就農支援に努めています。

**問** 嘉万公民館の壁の一部崩落に対応するため予算が計上されていますが、他の公民館施設等の危険箇所等については、調査されましたか。

**答** 市長から全ての公民館と教育施設を点検するよう指示を受け、市の一級建築士が点検を実施しています。

今後、緊急性のランク付けを行い、順次対応したいと考えています。



**問** 本市以外で「生涯活躍のまち構想」を策定する市・町はありますか。

**答** 県内では「山口市、宇部市」が構想策定に取り組まれていると聞いています。

**問** 青年就農給付金の受給者が1名減になっていますが、現在、何名の方がこの制度を利用し、給付金を受給されていますか。

また、主にどのような分野に就農されていますか。

**答** 現在の就農者数は6名と夫婦特例による2組であり、主に梨の栽培や畜産に就農されています。



# 平成27年度 第2回議会報告会について

平成27年度第2回議会報告会を12月7日(月)美東センター、8日(火)秋芳八代ぬくもりの里交流センター、9日(水)田代コミュニティセンターの3会場で開催し、市民50人の参加がありました。

**問** 平成26年度決算の黒字の要因は何ですか。

**答** 職員削減のウェイトが大きいと思われます。

**問** 議員の定数についてお尋ねします。

**答** 特別委員会で検討を行い、次回の選挙から3名減の16名とすることになりました。

**問** 行政視察による報告はどのようにされていますか。

**答** 委員会・会派等で視察し、視察報告書は議長へ復命書として提出、また一般質問等により今後の美祢市の活動、提案を含め市政に反映させるよう努めています。

**問** 合併後8年が経過しようとしています。なぜ水道料金の統一ができないのでしょうか。

**答** 現在、水道水の軟水化事業等を計画しており、近いうちに事業が実施される予定です。料金統一については、それらの事業と関連することをご理解いただきたいと思います。

**問** 市内小中学校の統廃合の状況はどのようになっていますか。

**答** 基本的に保護者や地域で議論された将来構想を基に進めていくことにしています。

**問** 田代地域には水道がないため、企業誘致も進んでいません。整備計画はどのようになっていますか。

**答** 現在測量をしている段階です。平成30年度の末には水道が整備される予定です。

## 《要 望》

- 議会の様子はMYTで放映されているが、もっと紳士的に議論をしてほしい。
- 地域振興のために公民館の充実をしてほしい。
- 観光施設の看板の整備をしてほしい。ジオスポットの案内板・地図等もまだできておらず不親切である。案内板は英語・中国語・韓国語での記載をしてほしい。
- 秋吉台の景観が最近悪くなっている。駐車場等の草刈りを積極的に行ってほしい。
- 秋芳八代ぬくもりの里交流センターは、地域の避難場所に指定されている。高齢者のために手すりを設置してほしい。
- 田代コミュニティセンターには屋内運動場のボードの落下や雨漏りで危険な箇所があり補修してほしい。市には申し入れているが、対策の進捗状況を教えてほしい。

◆議会報告会で市民の皆さまから頂戴した、ご意見・ご要望等については、議員全員が共通認識のうえ、議会として対応することとしています。

美祢市議会では、これからも市民の皆さまのご意見を頂戴しながら、本市発展に向け取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



秋芳八代ぬくもりの里交流センター




**平成28年**  
**3月**  
**定例会日程**

平成28年第1回(3月)定例会は、右表のように予定しています。

市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

正式な日程は、2月15日(月)に開催予定の議会運営委員会で決定します。

日 程	時 間	内 容 (予 定)
2月22日(月)	10:00	本会議 (初日)
2月25日(木)	9:30	予算委員会
2月26日(金)	9:30	予算委員会
2月29日(月)	9:30	予算委員会 (予備日)
3月 1日(火)	13:30	教育経済委員会
3月 2日(水)	13:30	総務民生委員会
3月 3日(木)	10:00	本会議 (一般質問)
3月 4日(金)	10:00	本会議 (一般質問)
3月15日(火)	10:00	本会議 (最終日)

### 編 集 後 記

昨年9月、念願の日本ジオパークに認定され、美祢市の将来に大きな意味を持つ第一歩を踏み出すことができました。

市議会は1月の臨時会で「世界ジオパーク認定に向けた拠点施設の整備に関する要望決議」を可決し、この先の世界ジオパーク認定に向けた取り組みを市民の皆さまとともに進めてまいりたいと考えています。

さて、現メンバーで編集する「議会だより」は、本号が最後となり、来年度は次期改選後のメンバーに引き継がれます。この4年間、市民の皆様には多くのご意見、ご協力、またご指導をいただきましたこと、心から感謝を申し上げます。編集委員長 萬代ほか委員一同

### 議会だより編集委員会

委員長	萬代 泰生
副委員長	猶野 智和
委員	山中 佳子
委員	三好 睦子
委員	岡山 隆
委員	俵 薫